

創立70周年記念第141回秋期大会 2021年11月12日(金)～14日(日) オンライン開催

第139回秋期大会、第140回春期大会に続き、今回も新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催とします。参加者交流の場として、Remo（オンライン会議アプリ）を利用した会員懇親会（13日）、会員談話室（13日、14日）の開催・設置を検討しています。

共催 一般社団法人軽金属学会、山梨大学

後援 公益財団法人軽金属奨学会

協賛 一般社団法人日本アルミニウム協会、一般社団法人日本マグネシウム協会、一般社団法人日本チタン協会、一般社団法人日本塑性加工学会、公益社団法人日本鋳造工学会、一般社団法人軽金属溶接協会、公益社団法人日本金属学会、一般社団法人日本鉄鋼協会、公益社団法人日本材料学会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人軽金属製品協会、公益社団法人自動車技術会、公益社団法人日本顕微鏡学会、一般社団法人溶接学会、一般社団法人粉体粉末冶金協会、一般社団法人資源・素材学会、日本バイオマテリアル学会、日本熱物性学会、一般社団法人日本航空宇宙学会（依頼中）

研究発表講演会 13日(土)、14日(日)

テーマセッションT1「再結晶集合組織によるアルミニウム板材の成形性評価」

軽金属奨学会「特別奨学生」セッション

ポスターセッション 13日(土)

軽金属躍進賞・軽金属奨励賞・軽金属女性未来賞受賞講演 13日(土)、14日(日)（一般講演セッション内で実施）

男女共同参画セッション（博士課程進学支援に関するテーマを予定）13日(土) 17:30～18:30

企業招待講演セッション 13日(土)

機器・カタログ展示・軽金属企業研究会 13日(土)、14日(日)

※11月12日(金) 表彰式、第56回小山田記念賞受賞講演、市民フォーラム、創立70周年記念式典・表彰式等の詳細については検討中

第141回秋期大会 参加事前申込

大会参加費：

第140回より講演申込費を無料化しました。（消費税込、参加申込の方には講演概要集のカラーデジタル版を配布します。冊子版（モノクロ）希望者は別途、購入してください）

	正会員	学生会員	非会員
第1期事前申込	8,000円	3,000円	12,000円
第2期事前申込	9,000円	4,000円	12,000円

（軽金属学会維持会員会社社員、協賛学協会個人会員の方は会員扱い）

・事前申込の会員は、会員マイページより大会1か月前からカラーデジタル版概要集を無期限でダウンロード可能です。維持会員、協賛学協会個人会員、非会員の参加者にはID、パスワードを発行し、HPダウンロードサイトから入手可能としますが、HPサイトからのダウンロード期間は大会終了後2週間までとなります。ただし、いずれも参加費の入金確認後でない限りダウンロードできません。オンライン開催につき当日の参加申込受付ができないため、事前申込を2期に分けて（第2期はクレジット決済のみ）受付けることにしました。

大会参加事前申込方法：

軽金属学会ホームページ：<http://www.jilm.or.jp/>「第141回大会」ページで受付けています。個人会員の方は会員マイページにログインしてから参加申込してください。

大会参加費支払方法：

第1期：申込と支払方法選択（クレジット決済も可能）が完了すると、受付No.、振込先等を明記した「第141回秋期大会 参加申込受付メール」が送信されるので、クレジット決済以外の方はその内容に従って参加費の振込みをお願いします。参加費の請求書あるいは領収書（入金確認後、請求書から領収書に切り替わります）は会員マイページから入手いただけます。参加費支払は10月7日までにお願いします。

第2期：参加費の支払いはクレジット決済のみ受け付けます。第1期同様、参加費の領収書は会員マイページから入手いただけます。

第1期事前申込締切：2021年10月7日(木)

第2期事前申込締切：2021年11月11日(木)

・大会プログラムは、軽金属学会ホームページならびに会誌「軽金属」9月号に掲載します。

概要集冊子版（消費税込、送料別 ※冊子版はモノクロ印刷）

定価	会員価格
12,000円	9,000円

・概要集の冊子版もご希望の方は軽金属学会ホームページの「刊行物・資料」-「学術図書類」-「その他の出版物」から購入ください。
・概要集電子版のUSBメモリ販売もしています。上記ホームページから購入ください。定価13,000円、会員価格10,000円。

参加費の振込みについてお願い

事務局での入金確認のため、申込者ご本人以外、例えば、大学、企業等から参加費を銀行振込みされる場合は、必ず、①申込者名および申込受付No.、②振込日、③振込金額、をFax：03-3538-0226またはE-mail：shomu@jilm.or.jpにご連絡ください。ご協力を宜しくお願い申し上げます。

第141回秋期大会講演募集

講演申込締切 2021年7月16日(金) 23:59までにweb申込
 概要集原稿締切 2021年8月30日(月) 13:00 事務局必着
 概要集印刷発行日 2021年10月12日

発表資格：発表者は本学会会員に限ります。非会員の方は、入会手続きをお願いします。講演大会参加費の支払を必須とします。

講演内容：講演は原則として未発表のもので論文としてまとめたもの

講演形式：口頭発表（一般セッション、テーマセッション）、またはポスター発表（ポスターセッション）

概要原稿：海外からの参加者にも発表内容が伝わるよう、英文ABSTRACT(100 words)、図表および図表のキャプションは英文表記。詳細は「概要原稿の書き方」を参照

発表方法：(1) 口頭発表 Web会議ツールを利用
 ①講演時間は、原則として、発表15分、討論5分
 ②英語での発表も可能
 (2) ポスター発表 ブレックアウトセッションを利用したWeb会議ツールを利用
 ①在席時間は1時間
 ②英語ポスター発表は使用言語は質疑応答含め英語のみ

申込方法：軽金属学会ホームページ：<http://www.jilm.or.jp/>から申込

- (0) 会員マイページに新規登録する
- (1) マイページにログインした後、ホームページの「イベント」-「講演大会」-「募集中の大会」をクリック（マイページにログインしないと講演申込ボタンが表示されない）
- (2) 「講演申込」画面の内容に従い、講演申込を行う
- (3) 講演形式を、口頭発表/ポスター発表（日本語）/ポスター発表（英語）/口頭発表・日本語ポスターのどちらでもよい/テーマセッション/奨学会セッション から選択する。口頭発表・日本語ポスターのどちらでもよいを選択した場合は、続いて講演分類を選択する。
- (4) 学生は申込時の学年（B：高専、専攻科，B4，M1，M2，D1，D2，D3，PD：博士研究員）表記とする。
- (5) 続いて大会参加予約申込をする。
- (6) 申込が完了すると、受付No.を明記した「第141回秋期大会 講演申込受付メール」、参加申込受付No.、振込先等を明記した「第141回秋期大会 参加申込受付メール」が送信される。
- (7) 講演申込内容は申込締切日までは会員マイページの「大会 講演履歴」ページで修正可能。

※講演発表に伴い入会される方は、軽金属学会ホームページから入会申請してください。会員マイページの利用開始は、本年度分会費の入金を確認後、入会承認を経たため、余裕をもって入会申請するようお願いします。

※第127回大会より講演分類と選択方法を変更しました。大分類（対象材料）および5つの小分類（用途、現象、検出・解析方法、目的、材料形状）からそれぞれ該当するものを選択ください。従来と異なる切り口でのプログラム編成を考えています。

※ポスターセッション充実の目的は、口頭発表によるパラレルセッションを可能な限り解消するためであり、50件程度のポスター発表を見込んでいます右側のポスター発表実施要領をご覧ください。多くのポスター発表申込を期待しています。

講演申込費：第140回大会より講演申込費を無料化しました。

大会参加申込：

一般講演、テーマセッション、奨学会セッション、ポスターセッションの発表者は、講演申込と同時に参加申込いただきます。大会参加費はクレジット決済、郵便振替または現金書留で10月7日(木)までにお支払いください。

※講演申込と同時に参加申込ができるようになりましたので、講演申込は必ず発表者が行ってください。

問合先：一般社団法人軽金属学会 事務局

〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-15 塚本素山ビル6階

Tel: 03-3538-0232 Fax: 03-3538-0226 E-mail: shomu@jilm.or.jp

ポスター発表実施要領

軽金属学会講演大会のポスターセッションを充実させています。

- *第135回大会より講演大会の国際化の一環として、英語で質疑応答を行う、英語ポスター発表枠を新設（国籍は問わない）
- *優秀ポスター発表賞および優秀英語ポスター発表賞受賞者を軽金属学会会長名で表彰
- *大会翌日以降、軽金属学会ホームページに表彰者を掲示
- *表彰者を学会誌「軽金属」および「学会ホームページ」に写真入りで紹介
- *学界、業界を問わず、35歳以下の正会員からのポスター発表も表彰の対象

実施方法

- (1) 対象者：正会員、学生会員の希望者。ただし、同一発表者による複数のポスター発表はできない。
- (2) 口頭発表と同様、概要原稿を提出する。英語ポスター発表者の概要原稿本文は和文、英文を問わない。
- (3) 発表当日のポスターは1ページのPower PointあるいはPDFファイルにまとめ、通常のA0サイズのポスターと同様の解像度とする。
- (4) ポスター作成に当たっては、表題には必ず英文表題を並記し、図表および図表のタイトルは英文表記とする。ポスター右肩にポスター番号を入れる。英語ポスター発表はすべて英語表記とする。
- (5) 在席時間は1時間。
- (6) ~~ポスター資料はjpegなど画像ファイル形式にして11月8日(月)までに発表者がオンライン開催webサイトにアップロードする。(大会当日まで差替可能。ファイルは自動的にコピー防止設定される。)~~ ポスター資料事前提出方法は別途発表者に連絡

テーマセッション講演募集

下記のテーマセッションでの講演を申込むと、世話人が基調講演と一般講演をプログラム編成し、座長を選任し、充実した討論を通じて参加者相互の実りある情報交換の場を提供します。7月下旬に開催されるプログラム編成会議の前に、世話人に開催日、時間、座長、講演順番など、プログラム編成を依頼します。

テーマセッションT1

「再結晶集合組織によるアルミニウム板材の成形性評価」

Formability Evaluation of Aluminum Sheets by Recrystallization Textures

(v)

趣 旨：

深絞り性は $\{111\} \langle uvw \rangle$ 方位が良く、 $\{001\} \langle uv0 \rangle$ 方位が悪いことが一般に知られている。また、曲げ性はこれとは反対で、 $\{001\} \langle uv0 \rangle$ 方位は良いが、 $\{111\} \langle uvw \rangle$ 方位は悪いことが知られている。アルミニウムでは Cube 方位 $\{001\} \langle 100 \rangle$ が発達しやすく、深絞り性には一般に良くなく、結晶粒も大きくなりやすい。そのため、自動車用板材の軽量化にはインナーパネル材として深絞り性を良くすることが急務である。アルミニウム合金の製造には 5000 系や 6000 系の合金種が検討されているが、現在のところ析出強化型の 6000 系が有望である。アルミニウム合金の製造中、変形集合組織と再結晶集合組織が形成される。中でも再結晶集合組織形成を予測することは難しい。2017 年度からスタートした「アルミニウムの再結晶集合組織形成モデル化研究部会」では、変形集合組織および再結晶集合組織の形成を予測し、深絞り性や曲げ性のような板材成形性を再結晶集合組織から予測するためのモデル化を検討し、2020 年度に研究部会を終了した。本テーマセッションでは研究部会の成果を発表するとともに、本テーマに関係する最新の研究成果発表を広く募り、モデルの正確さや実際の再結晶集合組織と板材成形性の関係について議論したい。

世話人：

井上博史 (元 大阪府立大学)、伊原健太郎 (株式会社神戸製鋼所)、高山善匡 (宇都宮大学)

軽金属奨学会「特別奨学生」セッション

今大会より、公益財団法人軽金属奨学会との共催により、軽金属奨学会「特別奨学生」セッションを定期的実施します。軽金属奨学会では、軽金属学術界の人材育成のため、軽金属に関する教育機関に在学する有為の学生に対し、研究に専念する時間を与え、創造性に富んだ研究者を育成することを目的に学費および研究費を交付しています。本セッションでは特別奨学生の研究成果を発表するとともに、特別奨学生制度の紹介も行いますので、軽金属学会会員、とりわけ、博士課程を目指す学生会員の聴講をお願いします。

世話人：

軽金属奨学会専務理事 浅田 淑, 理事 佐藤英一 (宇宙航空研究開発機構 教授)

※軽金属奨学会「特別奨学生」事業については、本号会告 (x) ページをご覧ください。

